



# News Release

静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ

指定管理者：公益財団法人静岡県文化財団 〒422-8019 静岡県静岡市駿河区東静岡2丁目3番1号

## 大杉漣出演、グランシップ制作の幻の未公開映画・内藤隆嗣監督『梅子』、 10年の時を経て、渋谷ユーロスペースにて上映決定！



公益財団法人静岡県文化財団・静岡県コンベンションアーツセンター・グランシップでは、平成21年8月にグランシップ開館10周年記念事業として、アート・映画・音楽・建築・フードなど様々なジャンルのアーティストによるアートイベント『105人の時間展』を実施しました。ある架空の小学校を舞台に、「時間」という答えの無い概念をテーマとして、参加アーティストがそれぞれの「時間」を表現した作品を展示。その中には、世界的に活躍する映画監督・内藤隆嗣監督も参加し、この『105人の時間展』のために撮り下ろした映画『梅子』という作品がありました。

昨年亡くなられた、大杉漣さんが出演しており、この度、内藤隆嗣監督の新作映画『吾郎の新世界』とともに、2019年3/2(土)～8(金)まで、渋谷ユーロスペースにて同時上映されます。

グランシップ制作の映画が、大杉漣さん幻の未公開映画として10年の時を経て、一般公開されます。



是非、県民の皆様にご周知いただけますよう、情報掲載をお願いいたします。

### ■ 上映作品概要

作品名	『梅子』	
上映会場日時	渋谷ユーロスペース（東京都渋谷区円山町 1-5） 2019年3/2(土)～8(金) * 内藤隆嗣監督新作『吾郎の新世界』と同時上映	
ストーリー	<p>山と海に挟まれたごくごく平凡な町に住む独身の男・次郎(菅田俊)。ある日次郎は、同じ町に住む兄の太郎(大杉漣)から夫婦水入らずのヨーロッパ旅行へ出掛けるために7歳の娘の梅子(大野百花)を預かることになった。子どもの扱いに慣れない次郎と、なかなか心を開かない梅子。にっちもさっちもいかない二人の奇妙な生活がスタートして数日後、次郎の知らないうちに、財布からもらったばかりの給料が消えるという事件が起こってしまう。まさか、お金を盗ったのは……。疑心暗鬼に駆られる次郎のとった行動とは？</p>	
監督脚本	<p>内藤隆嗣 宮崎県生まれ。自主映画『MIDNIGHT PIGSKIN WOLF』が PFF(ぴあフィルムフェスティバル)2006 で企画賞を受賞。第 18 回 PFF スカラシップに選ばれ、映画『不灯港』を脚本・監督。『不灯港』はロッテルダム国際映画祭コンペティション部門正式出品をはじめ、数々の海外映画祭で上映され、ミラノ国際映画祭コンペティションでは、準グランプリを受賞した。そのほかの脚本・監督作は『狼の時代』(10)、『狼の生活』(12)、『恋は考えるな、愛は感じる』(13)。日本のアキ・カウリスマキと評されることもあり、その独自の世界観が観る者を魅了する。</p>	

STAFF	製作:望月真也(グランシップ ディレクター) プロデューサー:平体雄二、共同プロデューサー:江川智、音楽:佐竹暁生、撮影:橋本清明、照明:鈴木大地、録音:古谷正志、美術:小坂健太郎、ヘアメイク:mi-co、衣装:石渡美穂、装飾:池田愛、監督補:渡邊貴文、制作担当:山中貴夫、音響効果:朝倉三紀子、制作プロダクション:スタジオブルー 企画制作:財団法人静岡県文化財団
出演	菅田俊、大野百花、ちはる、広岡和樹、内田春菊／大杉漣

## ■ グランシップ10周年記念事業 『105人の時間展』について

グランシップ10周年を記念して、様々なジャンルで活躍するアーティストが、「時間」をテーマに作品を展示。期間中グランシップ館内や芝生広場に点在する様々なアート作品に加え、毎週末限定のカフェブースやアコースティックライブ、屋外での映画上映会など、子どもから大人まで、気軽にアートに触れながらそれぞれの「時間」について考えるアートイベント。

2009年8/1(土)～16(日)に開催した。



### 【報道関係者各位のお問合せ先】

静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ

(公財)静岡県文化財団 事業課 〒422-8019 静岡市駿河区東静岡2丁目3番1号

TEL.054-203-5714 FAX.054-203-5716 MAIL:[info@granship.or.jp](mailto:info@granship.or.jp) 担当:渡邊麻恵